

自習教材 Infoss (Information Security System) の使い方

Infoss とは

Infoss は Web 画面を通じてネットワーク上のエチケット (ネットエチケット) や情報セキュリティ、著作権の問題といった内容を自習できるシステムです。各項目の理解度はチェックテストや終了テストによって確認することが可能です。

利用にあたっては Infoss 専用の利用資格が必要です。この ID は受講者カードの提出情報によって作成され、配布されます。パスワードを変更することはできません。パスワードは乱数によって生成されており無意味な文字列となっています。このパスワードを管理することもこの教材による自習の主旨です。必ず記憶してください。

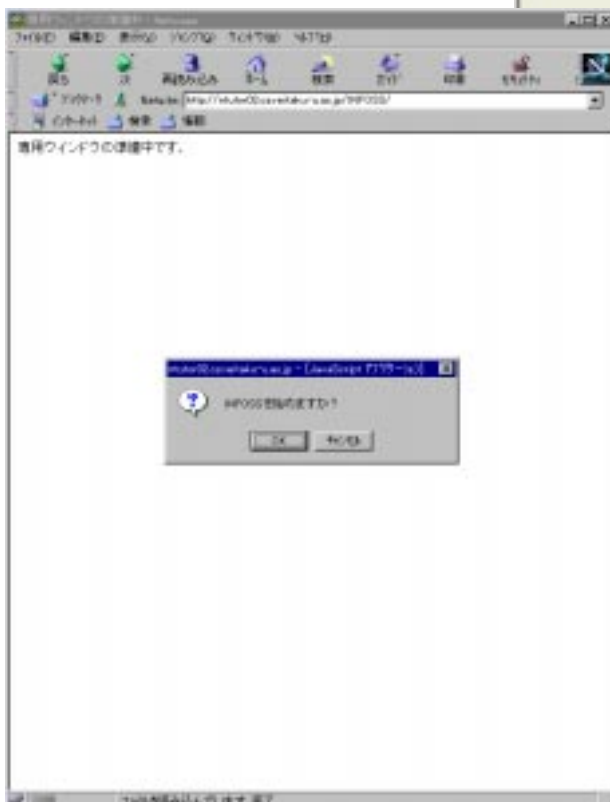
自習方法

情報倫理の教材のページから起動します。

情報倫理の教材ページの URL は <http://www.reitaku-u.ac.jp/infosci/eth/index.html> です。

(1) 右のページで、Infoss を起動するリンクをクリックします(図内で で囲まれた部分)。リンク箇所は 3 つありますが、いずれも同じページを指しています。

(2) クリックすると下のような画面が表示されるので、OK をクリックします。



(3) 次に以下のような認証の画面が現れるので、ここで情報倫理の授業中に配布された



ユーザ ID 通知書の USER-ID を ID 欄に、password を PASSWORD 欄に入力します。項目間の移動は TAB キーを使います。パスワードは入力しても画面上には* (アスタリスク) で表示されます。

(4) うまく接続できると以下の確認画面が表示されます。自分の名前が表示されたら、「学習をはじめる」をクリックして学習を開始します。日本語漢字コードに含まれない場合等、漢字氏名は正しく表示されない

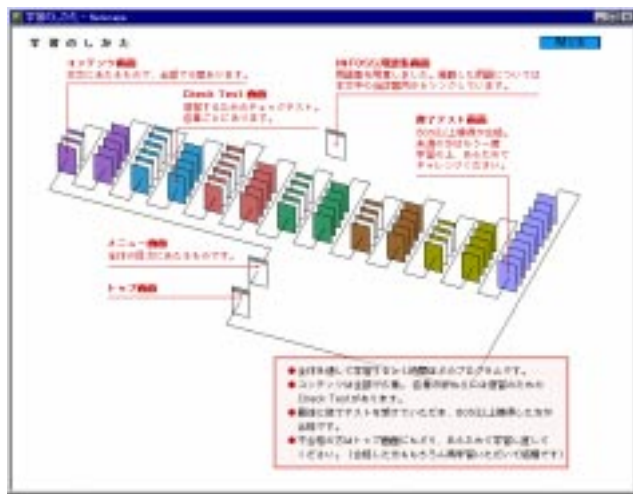


場合、漢字氏名は正しく表示されない場合があります。その場合明らかに間違いでない場合は練習を行って差し支えありません。

(5) 次にメニュー画面が表示されます。最初は、「学習のしかた」「INFOSS の使い方」

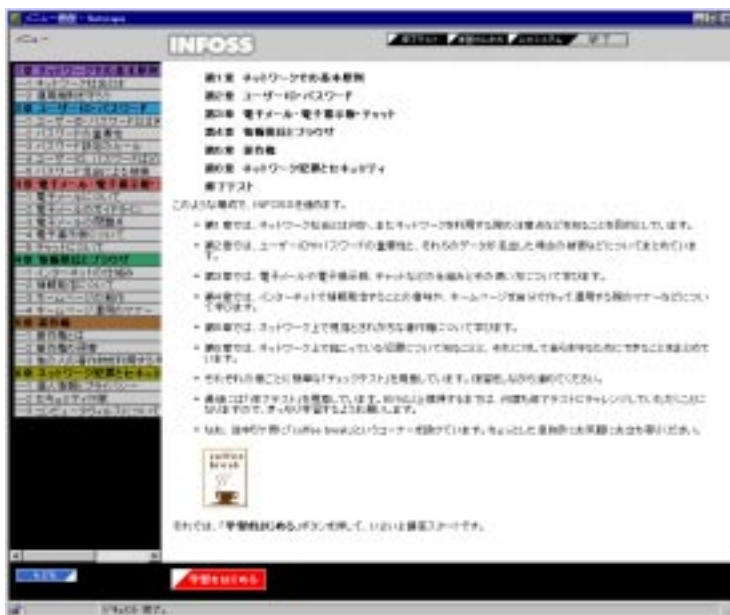


をクリックして内容を確認しましょう。それぞれ次の例のような画面となります。内容を理解したら、「メニュー画面へ」をクリックして学習を開始します。学習が終了したら「終了テストへ」を選択して終了テストを行います。



「学習のしかた」を選ぶと左のような画面となります。ここで、学習のための全体の流れを理解します。学習に要する時間なども表示されます。「閉じる」ボタンをクリックすれば前の画面に戻ります。

「INFOSS の使い方」を選択すると、右のような画面が表示されます。この画面で実際の操作が説明されます。スクロールバーがありますので、画面の下の方までよく読んで確認する必要があります。「閉じる」ボタンをクリックすれば前の画面に戻ります。



「メニュー画面へ」をクリックすると左のような学習メニュー画面が表示されます。通常はこの画面を使って学習します。第1章から練習を始めますが、画面に表示される説明を理解しながら読み進みます。途中で×式のチェックテストがあります。チェックテストもすべて実施する必要があります。

(6) 修了テスト



起動後の画面で修了テストを選択すると左のような画面が表示されます。修了テストは全部で5つあります。その全てに合格しなければなりません。不合格になったテストについては再度行うこともできます。また、合格になったテストも再度練習することができます。実施日時、正答率、誤った箇所などはすべて記録されます。途中で止めると著しく低い記録が残りますからテストを開始したら最後まで

実施するようにしましょう。テスト項目を選択すると、以下のような画面が表示されます。



各修了テスト毎に20問の問題が用意されています。4者択一の問題ですから問題文をよく読んで、答えの欄にチェックを入れます。チェック後、「次の問題へ」をクリックすると採点され、次の問題が表示されます。全ての問題が終了したら、「採点」ボタンを押します。正解の箇所、間違えた箇所が表示され、それぞれに簡単な解

説文による説明が表示されます。

課題：

11月30日までに INFOSS により自習を行い、全ての修了テストに合格しておくこと。